

第1回「釧路湿原川レンジャー」学習会 が開催されました

花咲かじいさんプロジェクトに参加

平成17年6月15日(水)に第1回釧路湿原川レンジャー学習会が開催され、18人の川レンジャーが参加しました。

今年度最初の学習会では、釧路開発建設部と釧路町遠矢小学校と共同で進めている※「花咲かじいさんプロジェクト」に参加、釧路川岩保木水門下流側の堤防で植樹やゴミ拾いを行いました。

植樹では、まず担当者から※「生態学的混播法」による植樹方法の説明があり、その後、釧路湿原周辺から採取した種から育てた2~3年目のハンノキやナナカマドなど約200本の苗木を、2人1組で1サークルに10本を植えました。

植樹の前に行ったゴミ拾いでは、今年は大型ゴミの不法投棄はありませんでしたが、空き缶やペットボトル・ビニール袋などが目立っていました。

植樹が終わった後、意見交換会が行われ、「植樹後の苗木の保護が必要ではないか」などの意見が出されました。



平成13・14年に植樹した樹木の生育状況を確認



説明を聞いてから2人1組で小さい苗木を丁寧に植樹して散水、樹種を記帳



花咲かじいさんに参加した川レンジャーのみなさん

※「花咲かじいさんプロジェクト」

※「生態学的混播法せいざいがくてきこんぱうほう」って、なに？



「花咲かじいさんプロジェクト」は、平成4年から始まった堤防のまわりを湿原の植物でおおい、自然の環境を守るための計画です。地域の人たちや小学生が、このプロジェクトの森づくりに毎年参加しています。

「生態学的混播法」は、自然林の種から苗を育てて植える方法で、苗同士の競争で生き残った木が約30年後に自然林になります。

釧路湿原でゴミ拾いと木道散策



植樹の前に岩保木水門周辺でゴミ拾い。毎年、行っていますがゴミの量がだんだん少なくなっているようです。



岩保木水門下流にある公園で釧路湿原を眺ながらの意見交換会

意見交換会（川レンジャーのみなさんからの意見）

- ・ 植樹した苗木のために、春（4月～5月）に根元を踏み付けると根づきが良い。
- ・ 植樹した後の苗木の保護を考えるべき、ヤナギなどは防風林となって良い。
- ・ 苗木はもう少し大きく育ててから植樹してはどうか。
- ・ 雷別での植樹の際に、シカの食害防止のためビニールのカバーをしたが、樹木の成長に悪いのではないか。
- ・ 山菜取りを目的として釧路湿原国立公園内へ立ち入ることは問題ないか。



温根内ビジターセンターから温根内木道を散策

釧路 湿原 新聞 1975年6月16日（木曜日）

湿原の自然 大切に

釧路川花咲かじいさんプロジェクト
成長楽しみに植樹
釧路町遠矢小児童ら参加

【釧路】豊かな釧路湿原の自然を大切に、釧路町遠矢小児童ら参加の「釧路川花咲かじいさんプロジェクト」が、6月16日（木曜日）に、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。

この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。

この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。

この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。この日は、釧路市温根内にある釧路湿原国立公園内で行われ、児童ら約40人が参加して、植樹活動を行った。